

創業63年の実績と蓄積された「考える技術」と「複数台の加工機械」でレーシングカー・医療機器・人工衛星の部品まであらゆる難削材を加工し、高精度のものづくりを追及します！

株式会社 秋谷製作所

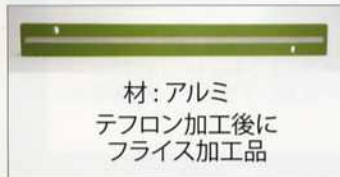
難削材や直径 1mm ~ 300mm の加工に対応。付加価値の高い製品をご提供します。



NC 旋盤・複合機・マシニングセンターによる高精度な加工を、充実した設備と技術者で実現。

加工製品紹介

当社では、微細加工、難削材加工、複合加工など、今後増大すると予想される高付加価値加工品のニーズにいち早くお応えするため、協力企業・メーカーと連携し常に最新の加工技術を追及しております。



主要機械設備

当社では、下記の機械設備で金属・樹脂の材質を問わず、総切削から旋盤、孔アケまで様々な加工技術で「試作部品」「金型」「工具部品」「多品種小ロットの加工品」等のお客様のニーズにお応えしております。



多品種少量生産に対応する即納環境を完備「欲しい物が欲しい時に欲しいだけ！」

旋盤

CNC 複合旋盤

メーカー	形式	台数	最大加工径	最大加工長
ヤマザキマサック	INTEGREX 300Y	1	φ610	1000
ヤマザキマサック	INTEGREX 200Y	1	φ610	1000
ミヤノ	BND 51SY	1	φ51	300
ミヤノ	BND 34S5	1	φ34	250

汎用旋盤

滝沢製作所	TAL-460	1		
滝沢製作所	TSL-550	1		

CNC 自動旋盤

メーカー	形式	台数	最大加工径	最大加工長
ミヤノ	LD-21	1	φ45	300
ミヤノ	BNC-34	1	φ34	200
スター精密	RNC16	1	φ16	120
シチズン精機	B12	2	φ12	120
長谷川機械	J24	1	二次加工機専用	

汎用精密旋盤

滝沢製作所	TAC360	1		
-------	--------	---	--	--

フライス盤

CNC マシニング

メーカー	形式	台数	X軸 × Y軸 × Z軸
池貝	TV-4	1	560 × 410 × 400

縦型フライス盤

メーカー	形式	台数	X軸 × Y軸 × Z軸
静岡製作所	2番	1	

その他

パンチレス : 10台 ポール盤 : 8台 タッピング盤 : 5台

CNC タッピングマシン

メーカー	形式	台数	X軸 × Y軸 × Z軸
ミヤノ	TSV-35	1	500 × 380 × 250
ミヤノ	MTV T351A	1	300 × 220 × 250

転造盤

メーカー	形式	台数	備考
ニッセイ	FA-10	1	10 吨

63年の実績

株式会社秋谷製作所では、お客様の満足・不満足を的確に把握し、改善要望に対しては迅速に、かつ徹底的に対処・解決に努めます。なお、満足されている場合でも、さらにより一層の満足を提供するように心掛けます。

【会社概要】

商号 株式会社 秋谷製作所
 代表者 代表取締役 秋谷 進
 創業 昭和 22 年 3 月 1 日
 資本金 1,000 万円
 所在地 〒131-0041 東京都墨田区八広 2 丁目 51-14
 TEL.03(3619)3618 代表
 FAX.03(3617)9939
 取引銀行 東京東信用金庫 吾孺支店
 従業員 9 名
 営業品目 精密金属部品及樹脂挽物加工一般
 特殊金属部品加工
 機器用金属部品打抜加工(プレス)



すみだが元気になる
ものづくり企業大賞
 2009
 受賞しました。

当社の取り組んでいる新技術の開発、積極的な設備投資が評価されました。

墨田区長と社員一同が同じフレームに収まり新たな挑戦を誓いました。



【会社沿革】

昭和 22 年 東京都墨田区の現在地において個人企業秋谷製作所を創業。ライター部品の生産を開始。
 昭和 27 年 「有限会社秋谷製作所」設立。榎矢崎電線様と取引を始める。自動車メータ部品の生産を開始。
 昭和 28 年 榎飛驒製作所様と取引を始める。化粧品容器部分の生産を開始。東洋時計様と取引を始める。時計部品の生産を開始。日本精機様と取引を始める。自動車メータ部品の生産を開始。
 昭和 41 年 挽物関連の工場を鉄筋 3 階建に改築。プレス工場を新設。
 昭和 49 年 榎精工舎様の協力工場に参加。時計部品の生産を開始。輸出向け金属製品の生産を開始。
 昭和 50 年 多田機工様と取引を始める。照明器具のプレス加工品生産を開始。
 昭和 62 年 設備を NC 化し、方向性を多品種・小ロット化に特化する。
 平成 元年 特殊材(チタン・バナジウム等)の加工を開始。
 平成 3 年 NC フライス機を導入、フライス加工を開始。
 平成 4 年 「株式会社秋谷製作所」に組織変更。代表取締役に秋谷富士夫が就任。医療器具・特殊自動車部品の生産を開始。
 平成 12 年 CNC5 軸複合加工機、CNC 旋盤(二次加工機)、MC 加工機、CNC 自動旋盤(サブスピンドル付 C 軸付)、
 平成 19 年 NC 汎用精密旋盤、ローディング付 NC フライス…機械導入。
 平成 20 年 代表取締役に秋谷進が就任。